

どうしてフッ素樹脂加工・テフロン加工のフライパンは剥がれるの？

「フッ素樹脂加工」と「テフロン加工」のフライパンの違いは、ご存じですか。「テフロン加工」とは、デュポン社の登録商標で「**テフロン加工**」と「**フッ素樹脂加工**」は名こそ違っても同じものです。このようなフライパンが想像以上に早く劣化や加工表面が剥がれるといった経験はございませんか。その多くの要因は「**過熱**」と「**ピンホールからの腐食**」です。

●劣化の二大原因「**過熱**」と「**ピンホールからの腐食**」とは

「**過熱**」とは、通常、調理をするのに適切な温度とされるのは最高で180℃までですが、それ以上に熱くなりすぎることを**過熱**といいます。よく、数ヶ月や1年でコーティングが剥がれてしまって長持ちしないといわれることがあります。その多くの原因です。フッ素樹脂加工は非常に熱伝導が悪いです。そのため、フライパンが中々温まらないと感じて、強火にしてしまいがちですが、これがNGです。早く温度を上げたくて、無意識のうちに強火を多用してしまい、これが繰り返されることでどんどん劣化してしまいます。

「**ピンホールからの腐食**」とは、ピンホールとは、目に見えないくらいの穴のことです。フッ素樹脂加工は熱伝導が悪いという弱点があり、そのため加熱調理器具で使用する場合は、薄くコーティングしなければ熱が伝わりません。薄くコーティングした分、ピンホールができやすくなります。調理時のヘラ等、洗う時のスポンジでもピンホールや傷ができ、さらに、塩分によって腐食が始まり剥がれてしまいます。つくった料理を長時間入れたままの状態にしておくことも、腐食の原因となります。

●フッ素樹脂加工を長持ちさせるために

フッ素樹脂加工のフライパンは、特に以下の点に注意してご使用ください。

- 火加減は中火以下…強火で熱し続けると、耐熱温度を超える場合があります。
- 傷をつけない…シリコン樹脂や木などのヘラを使い、洗う時も柔らかいスポンジでゴシゴシ洗わないようにしましょう。
- 急冷しない…急な温度変化は劣化の原因になります。
- 中性洗剤を使う…研磨剤などが入ったクレンザーやアルカリ性洗剤は劣化の原因となります。

チタンニウムやナノダイヤモンドといった耐久性が高いコーティングにも必ず寿命はあります。やさしく丁寧な取扱いによって、きれいに長持ちさせることが出来ます。

2017年
6月1週
(22号)

東海コープからの

おいしくって、
安全なおはなし

